



「風のくら」は竹林に囲まれた緑あふれる環境に建っている。外壁の仕上げには、風合いのあるスペイン漆喰を使用



打ち合わせスペースの飾り棚や無垢のテーブルは、ハウスのオリジナル。飾り棚には厚みある杉を使い、存在感を出している

**和と洋が見事に融合した
ハウスのスタイル**

筑紫野市の山間に、築150年を超える古民家をリノベーションした住宅がある。「ハウスのスタイル」が手がけた民家再生モデル住宅「風のくら」だ。ハウスのスタイルといえば、日本の古民家を「和」の概念にとられず、海外の素材なども積極的に取り入れて再生している。注目のハウスのスタイル「風のくら」



それはそれを象徴する住宅の一つとして、和と洋の要素を共存させたモデルでオシャレな造りになっている。そうは聞いていても、「風のくら」に踏み入れた時の衝撃は、想像を超えるものがあった。正統派和風づくりの居間に、洋の要素であるアンティークガラスを入れたオリジナルの建具やステンドグラスの窓が、違和感なく融合しているのだ。それは家づくりの楽しさ、奥深さに気づかせてくれる体験でもあるため、この場所に来てハウスのスタイルのファンになる人は数知れない。そんな経緯から、和風の古民家風と西洋アンティークがミックスしたハウスのスタイルは広がりを見せている。



エントランスホールでもある土間からリビングへ。和と洋が自然と溶け込み、豊かさまを感じる空間だ

ハウスのスタイル
の展示場

家づくりの
展示場
訪問
Discover with model house

モデルハウス『和の家 吉木』

日本の伝統美と現代の技術が融合 スペイン漆喰と無垢の木の家づくり

風の音、木の香り、きれいな空気。そんな森の中のような、ナチュラルな家で暮らしたい。そう願う人が、必ずとっついていっほど候補にあがるのが、ハウスのスタイルだ。早速、自然素材が体感できるという、モデル住宅へ行ってみたい。



コミュニケーションを重視したオープンタイプのキッチン。流すのキッチンボードはスライド式で、奥行きもたっぷり